

北九州市の財政状況と起債運営について



北九州市 財政局 財務部 財政課

〒803-8501

北九州市小倉北区城内1番1号

TEL : 093-582-2003

FAX : 093-582-2070

1 北九州市の概要

北九州市のプロフィール	1
これまでの取り組みと成果	2
市制50周年と新成長戦略の策定	4
グローバル需要を取り込むビジネス拠点形成	5
地域エネルギー拠点の形成	6
国内潜在需要に対応したサービス産業振興	7

市債残高の推移	14
健全化判断比率と地方債届出制度の活用	15
公営企業経営状況の推移	16
外郭団体決算と公民連携の取り組み	18
これまでの行財政改革の取り組み	19
今後の取組み『北九州市行財政改革調査会』	20

2 北九州市の財政状況

歳入決算額の推移	8
市税収入額の推移	9
市債発行額と市債依存度の推移	10
歳出決算額の推移	11
義務的経費比率の政令市比較	12
公債費の推移	13

3 起債運営について

起債コンセプトとIRの取り組み	21
平成25年度起債発行計画	22
平成25年度起債発行実績	23



CHAPTER 1 北九州市の概要

北九州市のプロフィール

28 / 10 / 2013

KITAKYUSHU IR 2013

(1)

- 発足：昭和38年(1963年)2月、
5市合併により誕生
五大市に次ぐ全国6番目の政令市

本年2月10日に、市制50周年を迎えました。

- 人口：981,174人(平成25年3月末現在)

- 面積：488.78 km²



合馬のたけのこ



門司港焼きカレー



小倉焼きうどん



イワシのぬか炊き



提灯が揺れる
戸畑祇園大山笠



和布刈展望台から望む関門橋



太鼓の音が鳴り響く小倉祇園太鼓

個性豊かな
7区



1901年操業開始 東田第一高炉

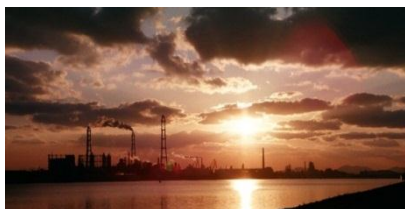


平尾台のカルスト台地

若松と
戸畑を結ぶ
若戸大橋



工場萌えツアーが
楽しめる
壮大な工場群



東アジアに近い
北九州

北九州・東京
北九州・上海は同距離、1,000kmに位置

これまでの取り組みと成果①

北九州ブランドの創造

本市の中核的な強みや
魅力を表す都市ブランド
.....
世界の環境首都
アジアの技術首都

● 日本を代表するものづくり産業が集積 (1901年～)



～工業都市として110年の実績～

- 素材産業 → プラント・エンジニアリング
- 機械・金属加工産業、自動車関連産業
- 環境エネルギー産業等の先端技術へ発達

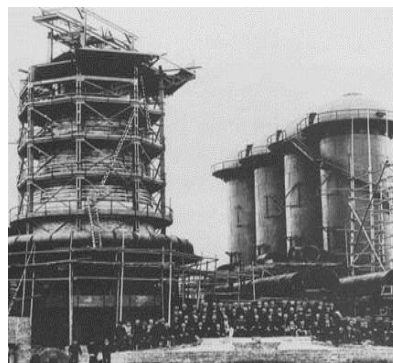
【ものづくりを牽引する市内企業】

TOTO※、安川電機※、三井ハイテック※、黒崎播磨※、
新日鐵住金、日立金属、三菱化学、ブリヂストン、
しゃぼん玉石けん※、ゼンリン※etc...

※は北九州市内に本社

過去5年間の企業誘致実績（平成20～24年度）

誘致件数：183件 新規雇用：3,207人 投資額：3,040億円



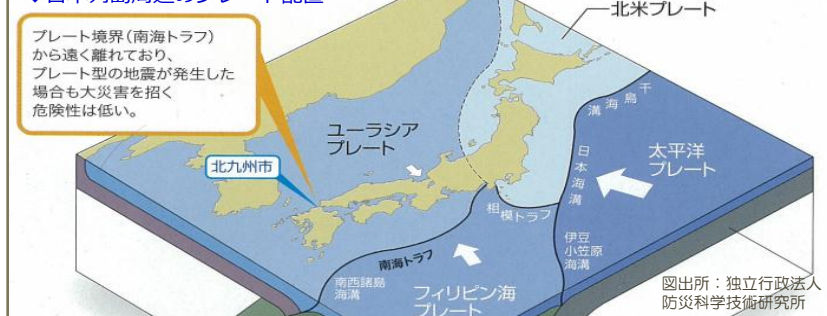
日本近代産業発祥の地 官営八幡製鐵所1901



2013年9月20日、国の世界遺産条約関係
省庁連絡会議で、「八幡製鉄所」など『明
治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連
地域』をユネスコの世界文化遺産に推薦す
ることを正式に決定。

2015年の世界遺産委員会で登録の可否が
審査される。

◆日本列島周辺のプレート配置



【ものづくりの街・北九州市の成長ポテンシャル】

1. 災害への強さ、安定的な創業が可能で業務継続性を確保。
2. 港湾・空港・高速道路網等のインフラや産業用地が充実。
3. 学術研究都市など理工系大学・研究機関立地で豊富な人材を供給。

これまでの取り組みと成果②

北九州ブランドの創造

本市の中核的な強みや
魅力を表す都市ブランド

世界の環境首都
アジアの技術首都

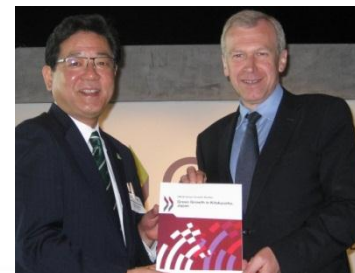
● 環境分野における取り組み ～公害を克服した技術力を世界へ～

- OECD「グリーン成長モデル都市」選定（2011年）「経済成長と環境政策の両立」の推進、他にバリ、シカゴ、ストックホルム。
- 「国際戦略総合特区」選定（2011年）国の成長戦略への位置づけ、様々な規制緩和や独自の税制措置を実施。福岡県・市と共に選定受ける。
- 「環境未来都市」選定（2011年）環境や高齢化に対応する次世代のまちづくりを推進。特区とのW選定。

北九州市では、公害克服の技術と経験を生かし、環境国際協力や循環型社会づくりを進めるとともに、

「世界の環境首都」

を目指したまちづくりを推進。



● アジアの 環境人材育成拠点

＜研修員受入
・専門家派遣＞



北九州市は、1980年代から開発途上国への専門家派遣や研修員受入れを開始。公害克服の過程で培った技術を開発途上国の環境改善に寄与。

現在、年間約250人の研修員を受け入れ、OB人材の活用や地元企業のビジネスへの発展など、北九州地域の活性化にも貢献。

＜～これまでのあゆみ～＞

公害克服の経験と実績による高い国際評価

- 1990年 国連「グローバル500」受賞
- 1992年 「国連自治体表彰」（日本初）受賞
- 2000年 国連ESCAP大臣会合「クリーンな環境のための北九州にアジア」採択
- 2002年 地球サミット2002「持続可能な開発表彰」受賞など



市制 50 周年と新成長戦略の策定

● 市制50周年記念事業の実施

昭和38年2月10日に旧五市(門司・小倉・若松・八幡・戸畑)が対等合併して誕生した本市は、平成25年2月10日に市制50周年を迎えました。

～本市の強みを国内外に向けてアピールし、まちに人を呼び込むため、数多くの魅力的なイベントを開催～



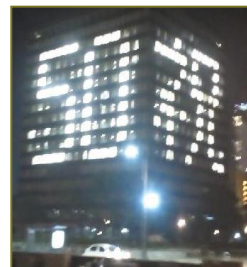
B-1GP(プレイイベント)



日本スポーツマスターズ2013



市民太陽光発電所建設



北九州市誕生祭



フィナーレは
**北九州
マラソン
2014!!**

● 産・学・官・民による「北九州市 新成長戦略」の推進 (平成25年3月策定)

*5つの方向性と18のリーディングプロジェクト

地域企業が元気に活動し続ける環境整備

高付加価値ものづくりクラスターの形成

国内潜在需要に適応したサービス産業振興

グローバル需要を取り込むビジネス拠点の形成

地域エネルギー拠点の形成

次世代自動車

ロボット

環境産業

サービス産業

6次産業化

都市インフラビジネス

地域エネルギー、省エネ

など

市内総生産の拡大を通じた
新たな雇用創出と市民所得の向上



市長を本部長とする
「新成長戦略推進本部」を設置

<成果目標>

平成27年度
まで

○新たな雇用創出
8,000人

平成32年度
まで

○市内総生産(名目) 4兆円
○市民所得 政令市中位

グローバル需要を取り込むビジネス拠点の形成

● グリーンアジア国際戦略総合特区

数値
目標

2020年までに (2011年12月指定)
約 5 兆 円 の追加売上高
(国の目標『50兆円超』の約1割)

特区に関する**北九州市独自の税制措置**として、
固定資産税を3年間課税免除する制度を新設。

対象：総合特区の計画に沿う事業を行う企業が、特区内で
新規取得した一定の土地、家屋、構築物、研究開発用償却資産。

● 水ビジネスへの取り組み

- ① 現在：基本計画作りを市上下水道局を中心に受注
→ 北九州市海外水ビジネス推進協議会へのバトンタッチ
(設計・施工を会員企業が受注)を目指す。
- ② 設計・建設から運営管理を含む1 Package型本格案件受注
- ③ 都市インフラを一括して整備する開発行為
(まちづくり)の中での上下水道整備案件受注
- ④ ウォータープラザを中核施設とする新たなビジネス展開

これまでの
取組成果

- カンボジア：7件
- ベトナム：3件
- インドネシア：2件



ベトナム・ハイフォン市でのデモプラント設置風景

◆ 過去3年間で、上下水道合わせ12件の案件受託 (H23年.3月以降)

● 海外業務推進体制：アジア低炭素化センター

- ◆ 都市環境インフラのパッケージ化
- ◆ 技術・製品等の展開支援
- ◆ 人材育成の拡充
- ◆ 温室効果ガスの2国間クレジット



小宮山宏センター長
(前東大総長)

◆ 北九州
モデルの例

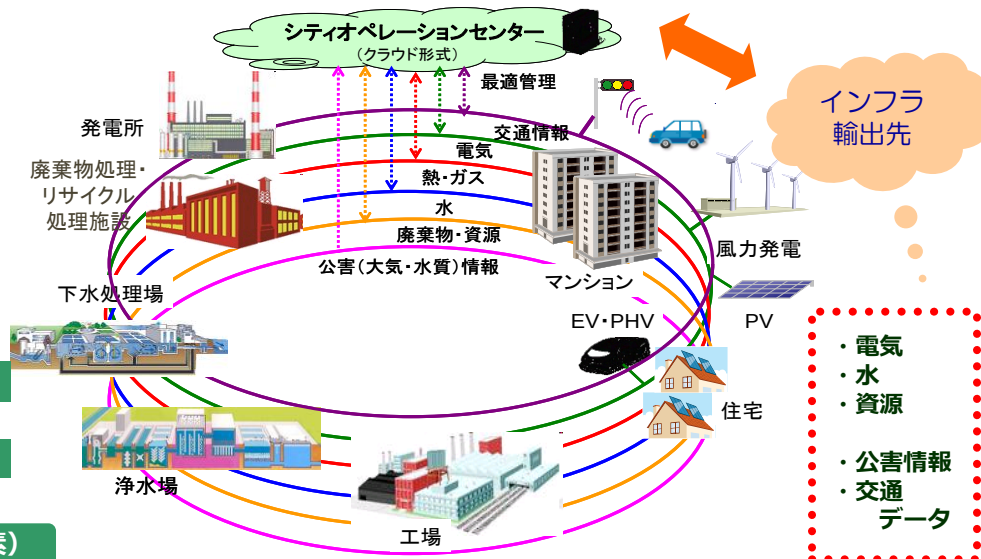
北九州市の
エコタウン
上下水処理技術
スマートコミュニティ
公害防止技術(CP)

官民連携による知識の構造化

都市環境インフラのパッケージ化

海外展開 (パッケージのセット、要素)

相手のニーズに応じて、技術やノウハウ等を組み合わせ、パッケージ化



地域エネルギー拠点の形成

●全国4実証地域の1つ

「八幡東田

スマートコミュニティ」でのノウハウ

域内での消費電力を一元管理
電力の需要予測により電気料金を随時設定

応用

産業版

響灘スマートインダストリーの推進

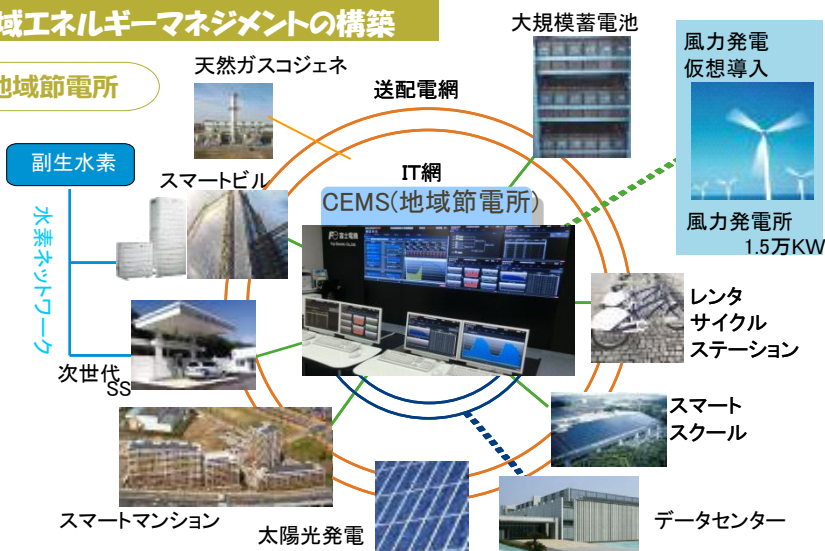
地域産業を支える、安定・安価なエネルギー体制を構築するため、北九州市響灘地区の多様なエネルギー源を活用した産業版スマートグリッド

「響灘スマートインダストリー」を推進。

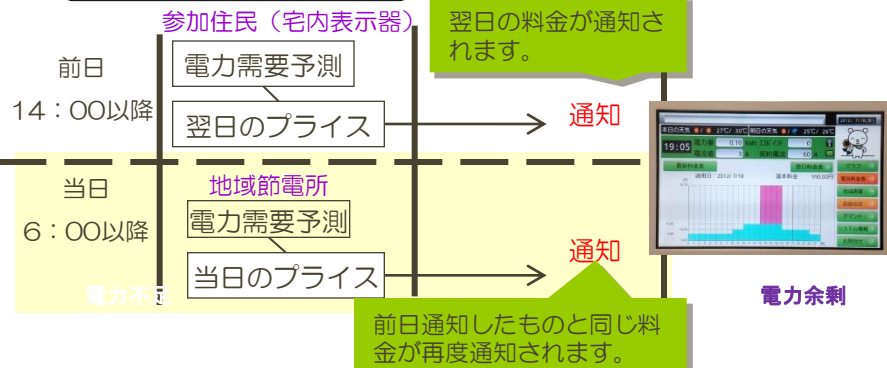
【地域エネルギー政策推進事業 H25年度：1億円】

地域エネルギーマネジメントの構築

地域節電所



ダイナミックプライシング



●エネルギー供給ポテンシャル

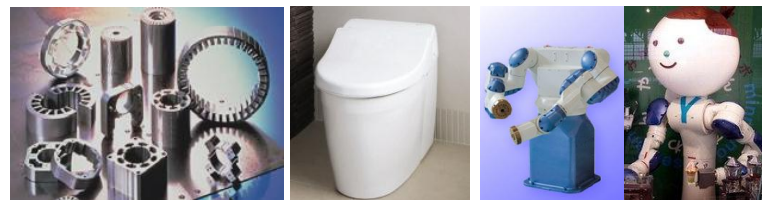
- ・LNG、石炭
- ・メガソーラー
- ・風力

⇒ オール九州に貢献



地域産業発展の
エネルギー基盤

●活力ある地域産業



鉄 鋼

衛生機器

ロボット

国内潜在需要に対応したサービス産業振興

● 健康・サービス産業の創出と雇用創出

➤ 政令市トップの高齢化率 **(25.1%、政令市1位)**

➤ 医療・介護サービス産業の高い集積

⇒ 健康生活支援関連産業が、今後本市の重要な産業として発展するポテンシャルあり。

➤ 本市医療福祉産業従業員 H21年度：59,776人→H24年度：63,961人

⇒ 市民ニーズに基づく、民間事業者の新たなサービスの事業化を支援

⇒ 市民の健康増進と健康長寿社会を支える健康生活支援関連サービス産業群を創出



北九州市 は待機児童数が **ゼロ** (H20年度以降、22年度除きゼロ維持)

北九州市 は合計特殊出生率が No. **2** (政令市中)

北九州市 は次世代育成環境ランキング※第 **1** 位(政令市中)

※「NPO法人エガリテ大手前」主催。22年度2位を除き、H21年度以降総合1位を維持。

子育て支援の主な取組み

○放課後児童クラブの全児童化

○乳幼児等医療費支給制度の拡充

○保育所保育士の加配 など

○24時間365日対応の小児救急医療体制における総合的救急医療の提供

○「赤ちゃんの駅」事業の推進



合計特殊出生率の推移と政令市の比較 (平成22年度)

